

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和元年8月19日(月) 開会 9時30分
閉会 10時45分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件 産業振興の推進について
①閉会中の活動のまとめ
・6月25日打合せ
・7月18日打合せ
・7月25日吾妻山視察
・7月29日打合せ
②閉会中の継続調査のテーマについて
4. 出席者 二宮委員長、坂本副委員長、善波委員、羽根委員、杉崎委員、大沼委員、
根岸委員、野地議長
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 1名(局長)
5. 経 過

産業振興の推進について

委員長 本日の式次第を紹介する。まず産業振興の推進について、4日間行った内容とまとめについて読ませていただく。その後に都市整備、産業推進について質問を行った内容についての回答が来たので、打ち合わせをしたい。それでは読ませていただく。

本日は、継続調査事項である産業振興の推進についてという議題であるが、6月定例会閉会後の活動を振り返り、9月定例会の報告内容をまとめたいと思う。

まず、6月25日全協終了後に打ち合わせ、これは創業支援についての意見交換を行った。7月18日午前の打ち合わせでは、経済効果に結びつく吾妻山公園の付加価値についての意見交換を行った。7月25日午前、吾妻山公園視察。終了後、打ち合わせを行った。その内容は都市整備課職員、局長と委員6名で吾妻山公園の視察を行い、第2委員会室で委員6名による意見交換を行った。7月29日午前に視察の振り返りと共に、意見交換を行った。産業振興と吾妻山公園との関連性が町民や町側から分かりにくいとの指摘もあるため、ここで明確にしておきたいと思う。観光資源としての吾妻山の課題としてあげられたのが、現在の吾妻山公園に訪れる観光客は足腰が丈夫で体力のある方に限られるということである。また、集客という点では、菜の花ウォッチングの時期には観光客が増えるが、バリアフリー化には限界があるものの、車両の乗り入れ範囲を広げることで公園へのアクセスを改善し、吾妻神社や公園内施設の紹介を積極的に行うことで、菜の花ウォッチング以外の時期にも幅広い層が観光客として訪れるようになるのではないかということである。年間を通じ、安定した観光客が見込めるということは、二宮町の商業者にとってインセンティブとなり、活性化につながるという意見で

ある。このような発想をもとに、まずは登り口から展望台へのアクセスについて現地調査及び意見交換を行ったということ、報告の中で説明したいと思う。

視察後の7月29日の意見交換では、観光資源としての吾妻山の課題という点で、様々な意見が出された。本日はそうした意見を羽根委員が箇条書きにしたものを配付している。これは個々の意見を列挙したものにすぎないため、この委員会としての意見をいくつか絞って9月定例会最終日に継続調査の報告をしたいと思う。皆さまのパソコンでも配信されていると思うが、意見の中で特にここを言いたいということや、もう一度説明をしたいというものがあればお願いをしたい。7月29日に出た意見で、これは絶対に良いなというものがあったら意見をいただきたいと思う。

中里口には民家があり、車の通行は難しいのではないかと。展望台へのアクセスを良くするための現況報告である。それから管理棟の駐車場の台数を増やせないのか。

皆さまへ意見を求めたいと思うが、ずっと読んでいくとともに、さらに意見を追加する作業をしてよろしいのか。

杉崎 吾妻山についての意見が20くらいあり、1つひとつをつぶしておくのも良いが、委員長が冒頭でおっしゃったように、我々が閉会中に与えられた任務は産業振興である。それに沿ってつぶしていかないと違う方向にいつてしまうと思う。

委員長 現在のテーマは産業振興についてであり、杉崎委員よりこの中で、産業振興についての意見のみをピックアップしたらいかかということであるが、どうか。

善波 おっしゃる通りだと思うが、吾妻山を中心という考えではなく、せっかくこの吾妻山があり、期間を限定したイベントをやっているわけである。そうではなく、ある程度は年間を通した吾妻山の魅力を出せないか。それが集客につながり、商店街の活性化や経済的効果などになるのではないかなと思う。吾妻山をひとつのシンボルとして利用していかうではないかという発想の中で考えていけば産業振興につながると思うが。

委員長 産業振興の中で、吾妻山の立ち位置を確立するために列挙をしているが、全て吾妻山から産業振興につながるのではないかと善波委員の意見であったが、1つひとつ動機づけをしていったら良いのではないかと。中には、言葉だけでは関係ないものも含まれるため、産業振興には通じないのではないかと杉崎委員からのご指摘をいただいたかと思うが。そのような流れで良いか。ご自分の意見内容はお分かりだと思うが、1つずつ必要であるか、説明をしながらという流れになると思うが。やはり頭から読んでいけば良いか。でなければ、これは必要ではないかというものを先に皆さまから意見を頂戴するかたちと、どちらが良いか。

議長 最終的には、委員会としての提言書を町に提出し、町はそれに基づいて事業を進めていくよう検討していただくようにもっていきたいと思っている。産業振興の推進は良いが、何をすれば産業振興の推進になり、何の事業を予算の組み入れてやっていただくかということまで、最終的な提言を考えたいので、1つひとつを詰めていただけたら、次に進めやすいと考えている。

委員長 番号は振っていないが、吾妻山に対してかなり貴重な意見が出ている。1つひ

とつが無駄にならない動機づけをしていくとともに、似たようなものがあればそれは1つにしたいと思う。そのようなやり方をさせていただくのでよろしく願いしたい。

まず、中里口には民家があり、車の通行が難しいのではないかと。これは、車で行けるのであれば、もう少し多くの方が上に行くことができ、人数だけではなくバリアフリー化もすれば町内外の方も喜び、何かしらの集客と売上につながるのではないかと思う。

善波

その辺を先に進めていくと、なかなか難しい問題があると思う。まず例えば、吾妻山に年間を通して集客ができるようなものは何か。1つ例を出すと、吾妻神社の存在感をもう少し世間に広めるなど。今は参道もあり、そのへんの整備をするなど。この間登った時も、梅沢口からの中間に昔は木が伸びてなく、江ノ島が見えたが、今は整備がされておらず樹木が生えている。

まず、人がどういうかたちで来るかということをもそんなに重要視する問題ではないと思う。人が来ればそれなりにバリアフリーなどは整備されていく。もし、そういうかたちである程度の集客ができたとして、最低限3番目にある中里口の整備は行政としても考えてもらわないと緊急時に担架で上がるのか、許可車がもう少し上られるよう広くするなどが必要となるだろう。そのため、バリアフリー化などは人が来るような仕掛けができた段階で、ある程度進行していくものであり、あまり広げてしまうのは良くないと思う。

委員長

産業振興に結びつく内容ということで、1人ずつピックアップして意見を頂戴できれば1番早いのかなと思う。

大沼

産業振興の中で、今回は吾妻山に注目を集めて勉強会を開催してきたが、吾妻山の現状の利用、活用方法の幅をもっと少し広げ、利用者を増やしていく。利用者を増やしていく中に、自力では移動が難しい方や、もしくは荷物の運搬なども同時にできるのではないかとということが挙げられていたのではないかと。その中で、いくつか勉強会で出てきている意見はあるが、吾妻山の山頂まで移動する方法ということに関して、電気自動車やシャトルでの送迎みたいものがないかというのが、行きついた考えの1つだと私は認識している。これを行うことにより、山頂で何かイベントをする時、例えばテレビ撮影などが入りやすくなるのであれば、吾妻山をさらにクローズアップされる。また、町内の足が悪くて登ることができない方にも利用ができるような。やはり吾妻山公園自体は町民のためになるような公園でなければならぬため、力を入れて押していくということは委員会として良い提言になるのではないかと。思う。

杉崎

それではだめである。我々の閉会中のテーマは産業振興についてであり、吾妻山の活性化ではない。テーマ決定をしてから吾妻山がくっついてきたわけである。今度の議会で産業振興を取り下げ、新たに吾妻山について閉会中の調査とする、ということであれば良いが。議長も先ほど言ったが、吾妻山について取り組み、どのように産業振興に結びつくのかというふうにもっていかなければならない。吾妻山の活性化は非常に良いことだが、そのようにもっていかないといけない。今回は最初につまずいてしまったことである。

坂本

経過を思い出すと、このテーマにする時も色々な意見が出た。それを総合して

産業振興というテーマに落ち着いた。あとはやり方で、産業振興という大きなテーマの中に吾妻山に通年で人が来るような施設の改修をしていこうというのも産業振興の1つである。鳥獣被害を一生懸命軽減させるのも1つである。大きなテーマの下に3つ4つ関連することをつくっていけば良い。それで今回は吾妻山を見に行ったりしてきた時に、マンネリ化した吾妻山の付加価値を高め、活気が帯びるようなことをしていこうという話が出ているだけであり、その他に鳥獣被害の問題も農業という1つのテーマでは避けては通れない問題であり、それも産業振興である。漁業では、海の組合が大磯に統合され、何とか活性化できないかというような。最初に試案を色々つくったが、2、3個は産業振興というテーマの下に置きながら、吾妻山についてやりたい人、鳥獣被害についてやりたい人、そういうふうに分科会を持って研究し、次に臨むと良い。皆で集まってあっちこちやるのは時間的にも難しい。大沼議員が言っている産業振興の中に吾妻山だけと思っはいけないと思う。たまたま見に行き、時間を費やしているのが吾妻山だから、特化したように見えるが、これは一部である。ただ残念なのが、この間職員が同行した時に車などで話かけると、全くそういうことに対して意欲を感じないことである。

委員長 職員のことは今回ではなく別の機会で。

坂本 そうではない。私が言いたいのは、打てば響く話が職員と議会であれば可能性があるが、そういうものがなく、ここだけで一生懸命やってもお題目だけでさびしい。

羽根 産業振興とテーマを決め、内容について書き出した際に、これが産業振興であるという話になったはずである。吾妻山だけやるとなるとテーマが狭いため、このようなかたちになったと思う。委員会として提言書を出す期間も限られており、今回は産業振興の中の吾妻山と鳥獣被害をテーマに研究を進めてやっていくのはできるのか。全部をやるのは難しいと思うため、例えば、吾妻山を整備していくことで集客を増やし、町内の経済活性化につなげるとか、二宮町の知名度を上げて、移住者を増やすことにつながるなど、吾妻山をテーマとする意味づけではいけないのか。

大沼 先ほど杉崎委員から産業振興の取り組みでないだめだという話があったが、私はそもそもテーマを決める時から、大きいテーマだと思った。その大きなテーマをつくっていく中で、1つ1つ柱をたてていくという委員会の作り方でも良いのかなと考えていた。坂本委員が言われたように吾妻山や鳥獣被害、漁業だったり商業だったり、色んな他の柱を順次つくっていき、最終的に産業振興という大きな目標が達成されるのかなという認識だったが、それだとまずいのか。

委員長 産業振興について私も調べたが、第1次産業が全て入るような内容もたしかにあるが、委員会としての提言は限られた時間内で行うことである。ここで、ほぼ1年が過ぎ、あと1年しかない中で、どのように進めていくかというところで停滞しているが、テーマ産業振興から、吾妻山もせっかく見に行ったので広げるのではなく、1回1回次の継続テーマの決を採っているため、内容も変えられると思う。例えば、産業振興の中の吾妻山公園についてという細かい部分もできるうだが。

善波 色々出ているが、最終的に一体化して提言をまとめるのであれば、吾妻山にこだわらず、吾妻山公園という付加価値が産業振興に結びついて経済の活性化につながるというのは良い。調査を進めていくうえで、行政が管理しているため1番手っ取り早い。漁業や農業とかは多少利害関係があり、個人の考え方と結びついていかなければいけない。漁業を委員会としてこのようにやったらどうか、鳥獣被害をこういう対策でやれ、というのは伝言的レベルである。公益なことを考えれば公園を活かし、産業振興に結びつけ、商店街の活性化を図るとか。集客増えれば、観光客も物を買っていこう。そういうことが産業振興につながるので、提言の方法としては簡単なのではないかなと私は思う。

根岸 副委員長が試案をおっしゃたが、産業振興についてはこのような項目が挙げられたと。皆さんがおっしゃっているまとめ方で良いと思う。例えば、吾妻山は途中経過としてこの先、商業の方にもつなげていって継続をしようかという流れに自然となると思う。少しつながりが持てるよう研究を重ねていくと良いと思う。

委員長 少しお伺いをする。次回のテーマ決めというのも1回1回全協で報告して、継続調査とするということだが、吾妻山公園としてのテーマを挙げた場合に猪はその中でどういう立ち位置か説明をしないと、それは発表できない。善波委員がおっしゃられた吾妻山公園を中心として絞るのであれば、産業振興の中の吾妻山公園とした方が提言はできるかなと思うが。

坂本 産業振興で決まっているので、それを大きなテーマとし、その下に吾妻山となるといかにも小さくなってしまいうので、観光というテーマが下にあるというふうになれば良い。観光といえば吾妻山しかないからそういうふうになってくるが。それと並列して農業。観光の中には吾妻山、農業の中に鳥獣被害が出てくるといようにすれば結びついていくと思う。今までの経験から吾妻山に他の市町村から人が来るとちの花屋でも寄って行く。数字的には僅かだが、春では食堂やレストランはかなりの集客が見込まれている。1つの産業として寄与している吾妻山、それが年々マンネリ化してきているため、もう一度活性化するよう議会から町に提言をするということだと思う。産業振興課に行き、たたき台をつくる時に色々話をした。その後、委員長と部長、課長と話したが、全く意欲がない。果たして一生懸命やって提言をしても現実的なこと、まずは予算のことなどを前向きにやろうとするのだろうか。それがすごく心配である。町長は観光は一過性なものだと言っているため、数年という考え方ではない。要するに菜の花だけあれば良いのだという位置づけであるため、職員はそれに従うとなる。そうなる和我々がそこを打破しないと虚しい結果になるのではないかと思っている。

委員長 副委員長の意見を伺ったが、委員長としての意見は、やる側は素晴らしい提案であれば動かざるを得ない方向になると思う。その素晴らしい提案のために今意見をぶつけ合っているので、私たちは全力投球をするべきではないかと思う。結果はその後に付いてくると思うが、動かさざるを得ない提案を来年までに出すということが必要である。だからこの委員会があるのではないかと委員長として思う。今はこの町をどのように産業振興を起こしていくのかに全力投球した意見を申し述べていただきたい。色々なテーマで分かれたが、元に戻らせてほしい。吾妻山にせっかく登り、ここに素晴らしい意見が出たので、今後残したい意見を

考えていただくため、約 10 分間の休憩を取りたい。その間に皆さんで考えていただき、吾妻山公園の素晴らしい意見を 1 人ずついただきたい。

休憩 10 時 06 分

再開 10 時 15 分

委員長 吾妻山について、挙げられた項目の中でなくても今後に引き続けるようなご意見があればいただくか、委員長と副委員長に権限を譲っていただければ、羅列されている内容をまとめさせていただき、次につなげるような内容を発表する。ご意見をいただければと思う。

羽根 皆さまからの色々な意見を大きく分けると、アクセスと通年活用なのかなと思う。吾妻山は二宮町の観光資源でもあり、地域の大きな資源でもある。これを最大限に活用するのは町の役割であって、今はまだ最大限にはできていないのかなと思うため、活用していくことで産業振興につなげるために提言をしていくということは良いと思う。大きな切り口としてはそのようなことだと思う。

大沼 羽根委員と同じような意見だが、アクセスや通年イベントなどが開催できるような活用方法に物資や人の運搬が可能になるような方法。そこらへんをふまえたものを委員長、副委員長で意見をまとめていただければ私は良いと思う。

委員長 他に意見はないか。

(意見なし)

では委員長、副委員長でこの内容をまとめさせていただき、皆さまにお知らせしたいと思う。

次に進む。9 月定例会の最終日に報告する次回の継続調査の名前を決めたいと思う。今、吾妻山公園を中心としたものが出てきたが、産業振興から吾妻山公園に切り替えることもできる。あくまでもこのまま産業振興をテーマとし、吾妻山公園を中心として小テーマとしてやるのか。

羽根 鳥獣被害はどうするのか。

委員長 2 つ挙げるということか。あくまでも、産業振興というテーマのもとに勉強会を重ねるということでよいか。

坂本 継続ということはテーマが切れてはいけないから、同じテーマでいくわけだと思う。ただ、中身については観光産業や農業や鳥獣被害が出てきてもおかしくない。

委員長 挙手をお願いしたい。このまま産業振興の推進についてというテーマでよろしいか。

(挙手多数)

何かご意見はあるか。

杉崎 やはり広すぎるから委員会としては難しい。前に公園について 4 年間取り組み、やっと提言書を出しても役場は動かなかつた。公園で 4 年かかったため、産

業振興だとどうなるのか。この際、テーマを取り下げて吾妻山観光資源などに特化するなど。鳥獣被害についても出ているが、鳥獣被害を調査してどうするのが私は不思議である。提言書としては、柵をもっと作れとか、お金をかけて何かをやれという内容になるかと思うが、とりあえずは産業振興を取り下げて継続調査のテーマとして特化したら良いと思う。あと1年しかない。

委員長 杉崎委員からこのような意見があったが、産業振興がうまくいってればもっと数年前から二宮町も税収や名も上げることができたと思う。何十年間にわたり同じ状態だった町の産業をこの2年間でやるというのは非常に現実性がない。精神的にはあくまでも産業振興をメインするが、的を絞りながらテーマを掲げていくのが、杉崎委員も同意見ではないかと思う。産業振興を置きながら1つずつ塗りつぶしていくということである。

休憩 10時22分

再開 10時30分

委員長 9月の継続調査事項についてだが、産業振興を勉強する中で吾妻山にたどり着き、観光をふまえたうえで、公園の利用促進等をさらに研究してまいりたいと思うので、吾妻山公園を継続調査事項としたいと思うが、いかがか。

議長 テーマの名前を変えるという話であったと思うが。

休憩 10時32分

再開 10時42分

委員長 産業振興ということで色々なご意見をいただいたが、全ての産業ではないが、観光資源として人を集めることができる吾妻山について調査も行い、現状として辿り着いている。次回の継続調査事項は、産業振興の推進の中にある観光資源である吾妻山公園の活性化について調査事項としたいがいかがか。

(異議なし)

以上で本日の委員会を閉会とする。

閉会 10時45分